

＜白畑教育次長答弁＞

安浪議員 1001 作成部局 教育委員会No. 1

質疑要旨 野球等のスポーツ活動において、子どもたち
と子どもの親が共に行動していることをどう思うか。

答弁要旨

本市では、スポーツを通じて心身の健全な育成に努めており、スポーツ推進計画においても、子どもたちの体力向上を掲げて取り組んでおります。

子どもたちのスポーツの推進を図る上で、スポーツに取り組みやすい環境を整えることは大変重要なことだと考えており、保護者や指導者の皆様が、子どもたちと共に活動し、支えていただいていることは大変ありがたいことだと思っております。

以上

＜白畑教育次長答弁＞

安浪議員 1002 作成部局 教育委員会No. 1

質疑要旨 尼崎のチームの全国大会での活躍を、市長
や教育長は承知しているか。

答弁要旨

お尋ねのチームにつきましては、市長表敬訪問で全国大会出場のご報告をいただき、全国大会での結果につきましても承知しております。

チームの皆様のご努力が実を結んだものと大変喜んでおりますし、スポーツの推進に携わる者として心強く思っております。

なお、本市では、全国大会等に出場される個人や団体に対し、スポーツ振興激励金を支給する等により、激励させていただき、素晴らしい結果を収められた場合には、表彰させていただくとともに、市のホームページ等により、市民の皆様へお知らせいたしております。

今後とも、更なるスポーツの推進と競技力の向上に努めてまいります。

(以上)

安浪議員 1003 問目 作成部局 こ青本部事務局 No.1

質問要旨 国道 43 号以南の土地について、少年野球
やスポーツに取り組む青少年が利用できるよう、市と
して協力できないか。

答弁要旨

青少年の健全育成を促進する上で、スポーツの果たす役割は大変大きいものと認識しております。

少年野球やスポーツの練習場所等につきましては、現在、各チームの指導者などが、学校開放によるグラウンドや体育館、公園施設等を予約し、利用されていますが、議員ご指摘のとおり、グラウンド等の確保にご苦労されていることも認識しているところでございます。

こうしたことから、利用できる可能性のある土地についての情報を相互に交換したり、必要に応じて所有者の方と連絡をさせていただくなど、可能な範囲でご協力させていただきたいと考えております。

以上

＜白畑教育次長答弁＞

安浪議員 1004 作成部局 教育委員会No. 1

質疑要旨 学校開放において、なぜ学校内に車を乗り入れることができないのか。

答弁要旨

学校敷地内への車の乗り入れにつきましては、児童・生徒の安全上の観点から、来客や関係業者も含め、通行や誘導に細心の注意を払う前提で必要最小限で認めております。また、教職員につきましても、身体に障害がある場合や業務のため出退勤時間が早朝や深夜になる場合に限って、有料で許可しております。

ご質問の小学校の学校開放に係ります車の乗り入れにつきましても、放課後の利用とはいえ、こどもクラブや児童ホームも含めた児童の安全及び施設の管理上の課題がありますことから、同様に緊急時や用具搬入等、必要やむを得ない場合を除き、原則禁止としているものでございます。

以上

安浪議員 2001 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局

質疑要旨 「近松のまち」として多額の予算を使ってきたが、成果と問題点をどのように検証しているのか。

答弁要旨

本市では、市制 70 周年を契機に「近松」を文化振興のシンボルとして様々な取り組みを実施してきました。

なかでも、近松ナウ、近松賞などの文化振興事業は、市民の地域への愛着を高め、地域の魅力を高める力を持つものとして継続してきており、平成 12 年に創設した近松賞は、国内外から多くの応募作品が集まる戯曲賞として高い評価を得ることで、尼崎市の文化振興のシンボルとして「近松のまち・あまがさき」を広く発信しています。

また、昨年度、「尼崎市文化ビジョン」を策定するにあたり実施したアンケートにおいても、尼崎の文化の特徴だと思ふものをたずねた設問では、全世代において「近松門左衛門ゆかり」であることが上位に挙げられており、まちの文化的なイメージとして広く定着しているものと考えています。

(次ページに続く)

No.2

文化事業に関する評価につきましては、今後「尼崎市文化ビジョン」に沿って、取組の成果などを評価していくこととしており、近松関連事業に関しても今日的なあり方を検証してまいります。

以上

安浪議員 2002・2005 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局

- 質問要旨 ①尼崎城を契機として始めた観光地域づくりの取組とはどのような取組か。
- ②観光地域づくりの取り組みではなく、早急に観光課を作る考えはあるのか。
-

答弁要旨

平成30年度の尼崎城グランドオープン等を見据え、観光客の受入体制の整備など、観光地域づくりを進めていくため、今年度、ひと咲きまち咲き担当局に観光地域づくり推進担当を設置しました。

今年度におきましては、同担当において、本市を訪れた外国人や近隣他都市住民を対象としたデータ収集、尼崎市観光地域づくり懇話会での議論を踏まえた尼崎版観光地域づくり推進指針の策定などに取り組んでおり、現在、来年度以降、地域が一体となった観光地域づくりの舵取り役となる尼崎版 DMO の設立に向けた準備作業や尼崎城の来訪者シミュレーション等を進めているところです。

(次ページへ続く)

来年度以降につきましては、観光地域づくり推進担当と機動性の高い尼崎版 DMO が、それぞれの役割を果たしながら十分に連携しあうことで、地域や関係者を巻き込みながら、本市の観光振興を推し進めていくこととしております。

以上

安浪議員 2003 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局

質問要旨 尼崎城を突破口として、観光都市として施策
を推進していく考えはあるのか。

答弁要旨

多くの注目を集めている尼崎城が再建された際には、市内外から多くの方々が尼崎城を訪れていただけるものと考えております。

こうした方々に、尼崎城だけでなく、城内地区や寺町、さらには商店街といった周辺地域を巡っていただくきっかけとなるように、尼崎城を核とした情報発信や周辺の地域資源を繋ぐストーリーづくり、重点取組地域としている尼崎城を始めとする城内地区、寺町、中央・三和商店街などを周遊する仕組みの構築を行うなど、尼崎城^{は屋敷}再建を観光地域づくりの起爆剤と位置づけ、観光振興の取り組みを推進してまいります。

以上

安浪議員 2004 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局

質問要旨 何か外国人観光客に本市へ来てもらう策はあるのか。

答弁要旨

全国的な訪日外国人の増加に伴い、そのニーズも多様化してきており、これまでの名所・旧跡を目的とした観光や「爆買い」といった買物中心のモノ消費だけでなく、旅先での地元の方との交流や現地でしかできない体験などのコト消費が重要視されてきております。

本市においても、既に神社での巫女体験や、銭湯での貸切温泉体験などのインバウンド向け体験プログラムが行われております。

今後、関係者の皆様と連携し、ものづくり企業や尼崎城での和装体験、競艇場ツアーなど、地域資源を生かしたコト消費の充実や情報発信の強化に努め、外国人観光客を含め、少しでも多くの方に本市を訪れていただけるよう取組を進めてまいりたいと考えております。

以上

安浪議員 2006 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局

質問要旨 工業の町、労働者の町から 180 度方向をかえ、自転車や歩いて楽しめる公園の町を目指す考えはあるのか。

答弁要旨

観光振興に取り組むにあたっては、地域の資源をつなぐなど、来訪者が公園のように安全に楽しく周遊や散策できるしくみや環境を整えていくことは重要な視点と捉えております。

こうしたなか、来年度から本格的にスタートする観光地域づくりは、まず尼崎城を中心とした城内地区及び寺町、阪神尼崎駅周辺を重点取組地域として取組を始め、その進捗状況や集客の効果などを踏まえながら、対象エリアを市域全体に拡げていきたいと考えております。

このように対象エリアを拡大していく段階において、市域全体の地域資源を結ぶストーリー作りや公共交通機関との連携といった周遊促進策の検討も求められてまいります。こうした取組を通じて本市の魅力やイメージの向上が期待できるものと考えております。 (以上)

安浪議員 2007 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局

質問要旨 尼崎城をきっかけとして、本市を観光都市に変えていく考えはあるのか。

答弁要旨

来年度の尼崎城の再建と全国的な訪日外国人観光客の増加という大きな好機を捉え、本格的に観光地域づくりを推進していくべく、現在、観光地経営の舵取り役となる尼崎版DMO設立の準備などに取り組んでいるところです。

今後、市民や事業者など地域が一体となって観光の視点で地域をつくる観光地域づくりの取組を、次の100年に向けた新たなまちづくりのエンジンに位置付け、地域経済の活性化やまちの魅力と価値の向上につなげてまいりたいと考えております。

以上